

ほけんだより

令和2年6月 臨時号

八尾市立竹渚小学校

保健室

※おうちの人と読みましょう。



感染性胃腸炎についてのお知らせ

<保護者様>

コロナウイルス感染症の拡大防止対策にご理解・ご協力いただきありがとうございます。学校では、コロナウイルス以外の感染症対策も行っています。中でも、ノロウイルスなどは非常に感染力が強いため、学校ではすべての嘔吐や下痢を感染性胃腸炎とみなし、衛生管理を徹底しています。汚染を最小限にとどめるため、万一衣類等がよごれてしまった場合の対応については、裏面をご覧ください。

嘔吐・下痢などの症状がありましたら、熱がなくても無理をせずゆっくり休むようにし、早めに病院を受診して下さい。ノロウイルス等による感染性胃腸炎は、出席停止となりますので学校までご連絡ください。

【どんな病気?】

- ウィルスや細菌などに感染して起こる胃腸炎。
- 子どもに多いのは、ロタウイルス、ノロウイルスによる胃腸炎で、11月～3月ごろに多くみられる。
- 石けんを使った手あらいや、生活リズムを整えて体力をつけることが、予防につながる。

【主な症状】

- 吐き気・嘔吐
- 下痢・腹痛
- 37度台の発熱
- 嘔吐や下痢に伴う脱水症状

☆ 感染から症状が現れるまで、1～2日間の潜伏期間があります。

【二次感染の予防】

感染者の便や嘔吐物にはウィルスが含まれ、感染力が非常に強いので、正しく処理することが大切です。

<用意するもの>

- ペーパータオル
- ビニール袋（大きめ）
- 使い捨てのビニール手袋、マスク、エプロン
- ペットボトル（500ml、2ℓ）
- バケツ
- タオル
- 塩素系消毒剤（市販の塩素系漂白剤）

<消毒薬のつくり方>

消毒薬A（濃度0.1%/吐いたものの処理）

500mlのペットボトル1本分の水に、ペットボトルのキャップ2杯（10ml）の塩素系漂白剤を入れる。

☆温度・直射日光により濃度低下を起こすため、長期保存は避け、冷暗所に保存する。

【吐いたものの処理方法】

①ビニール手袋・マスク・エプロンをつけ、消毒薬Aで浸したペーパータオルで、汚れている部分の外側から内側に向けて静かにふき取る。

ふき取ったペーパータオル・手袋・マスクなどは、すぐにビニール袋に入れ、消毒薬Aをかけ、密封して捨てます。

②ふき取った後の床とそのまわりを、消毒薬Aを浸したペーパータオルでおおい、10分ほど放置した後、水ぶきする。

☆フタ付きのゴミ箱や屋外のゴミ箱に捨てる。

☆塩素系漂白剤を使うので、窓を開け、十分に換気をする。

☆処理後は、石けんで手を洗い、うがいをする。

***下痢や嘔吐でトイレなどを汚してしまったら、お家の人**

や先生にすぐに言いましょう!!